

The Geochemistry, or Else

2009

The farther backwards you can look,
the farther forward you are likely to see.

Winston Churchill

日本地球化学会 第4回ショートコース

主旨：地球化学は、試料を構成する元素、同位体、化学種の存在度、分布、移動、変化を空間的・時間的に調べ、それらを支配する法則や原理を見いだすことにより、地球や惑星を構成する物質の構造や循環を調べる学問である。分析・データ解析技術の進歩により、試料から得られる地球化学的知見の質と量は飛躍的に向上し、今では、鉱物学、岩石学、地質学、地球物理学など、他の地球科学分野の発展を支える重要な学問となっている。しかしその一方で、地球化学の応用性・実用性のみが注目され地球化学の本質である現象の素過程を調べる研究が少なくなるとともに、時間をかけてじっくり調べ、問題点を徹底的に掘り下げて理解する機会も減少するという問題も顕在化している。こうした問題に対し、日本地球化学会では地球化学講座の発行を通じて地球化学の啓蒙を進めてきた。そして日本地球化学会では、次なる啓蒙活動として、大学生・大学院生を対象とした「ショートコース」を、年会日程（平成21年9月15, 16, 17日）に合わせ、9月14日に開催する。本ショートコースでは、地球化学を研究する上で必須となる基礎知識の包括的修得と、最先端研究に触れることによる視点の拡大、という次の二つの目標を掲げ、将来の地球化学を担う若手研究者の育成を目指す。

プログラム

はじめに 9:30 - 9:35 「The Geochemistry, or Else : 地球化学の役割」 平田岳史 (京都大学)

講演 1 9:35 - 10:55 「原始太陽系解剖学」 塚本尚義 (北海道大学)

講演 2 10:55 - 12:15 「地震波異方性からマントルウェッジをみる」 片山郁夫 (広島大学)

(昼食)

講演 3 13:15 - 14:35 「海底で起こっている化学反応：地球化学で考えるレアメタル」 石橋純一郎 (九州大学)

講演 4 14:35 - 15:55 「地球表層におけるナノスケールプロセスとナノ直接分析の威力」 宇都宮聡 (九州大学)

(休憩)

講演 5 16:10 - 17:30 「地の果てにこそ、真実がある」 長沼 毅 (広島大学)

Closing 17:30-17:40

(1) 定員・申込締切

50名(先着順)。9月4日(金)を参加申込締切日としますが、定員になり次第、参加申し込みを締め切らせて頂きます。主として本学会の学生会員を対象としますが、非会員あるいは年配の方も参加可能です。

(2) 開催日時・場所

日時：平成21年9月14日(日本地球化学会年会前日) 午前9時30分～夜6時頃まで

会場：広島大学東広島キャンパスE棟(右図参照)104号室(E104)会場へのアクセス方法については、年会ホームページをご覧ください。

日本地球化学会2009年年会：<http://www.geochem.jp/meeting/index.html>

(3) 参加費

3,000円(講師謝金費、資料代、弁当代等を含む)。当日受付で徴収いたします。日本地球化学会学生会員は学会からの補助により2,000円引とします。

(4) 申込み方法

詳細については日本地球化学会年会ホームページで公開いたします。



お問合せ：京都大学 平田岳史 (hrt1@kueps.kyoto-u.ac.jp)

Here you can find the answer.

日本地球化学会